

第26回東京都障害者スポーツ大会 スポーツの集い（第59回）（知的部門）実施要領

1 目 的

在宅及び施設等を利用している知的障害者（児）とその家族や関係者を対象にスポーツに触れる機会を提供し、生涯スポーツの実現と併せて心身の健康の維持・増進を図り、社会参加（自立）へ向けた意欲を促進すると共に社会の多くの人々の障害者理解を深めることを目的とする。

2 日 時

令和7年12月11日（木）10時30分から15時30分まで（予定）

3 場 所

駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場

4 主 催

東京都／社会福祉法人NHK厚生文化事業団／公益社団法人東京都障害者スポーツ協会

5 運 営

第26回東京都障害者スポーツ大会 スポーツの集い部会

6 協 力（予定）

（社福）東京都手をつなぐ育成会、東京都パラスポーツ指導者協議会、施設正会員社員ボランティア、赤十字語学奉仕団、健康向上企画、順天中学校 他

7 内 容（予定）

第59回大会は、「来場型」、「リモート型」及び「動画視聴型」で実施する。

なお、「リモート型」は、（1）から（3）までの参加とし、「動画視聴型」は、（5）バンド演奏を除くすべての内容を視聴できる。

（1）開会式	（10時30分～）
（2）競技	（11時00分～）
（3）アトラクション	（12時00分～）
（4）昼休憩	（12時30分～）
（5）バンド演奏	（13時00分～）
（6）競技	（13時45分～）
（7）閉会式	（14時50分～）

8 リモート型及び動画視聴型の参加について

リモート型及び動画視聴型を希望する場合は、下記の点に留意すること。

- ・参加にあたっては、各施設において感染症対策を講じた上で参加すること。
- ・配信状況確認の為、事前にデモ配信によるリハーサルを行う。詳細については申込施設へ別途通知する。
- ・大会の映像・写真・記事等に記録された個人情報（氏名・年齢・性別・肖像等）が、新聞・テレビ・雑誌・インターネット・パンフレット等各種メディアにて使用されることを承諾するものとする。
- ・リモート参加に係る設備等の無償貸与については、施設のみ対象とする。

9 対象者（児）

都内在住・在勤・在学の知的障害のある方（都内施設利用者を含む）

10 競技種目・対象者（児）

バンド演奏は、来場者のみの参加とする。

今回は、全競技について、全員参加可能（参加者・付添い・家族・係員等）。

午前

- （1）盆パラビクス
- （2）玉入れ ※実施方法については別紙を参照すること。
- （3）ボール渡しリレー（申込制）※実施方法については別紙を参照すること
- （4）アトラクション

午後

- （5）バンド演奏（30分程度）
- （6）30m競走（申込制）
- （7）つなひき（申込制）
- （8）大玉送り

11 注意事項

- （1）開閉会式（入場行進なし）、盆パラビクス、玉入れ、大玉送りは、全員参加するものとする（車いす利用選手含む）。
- （2）申込制の3競技については、参加希望競技を2競技選択することとする。
- （3）ボール渡しリレーは、複数のボールをその場で次の人へ渡す競技である。
- （4）30m競走は、男女別にレースを行う。（車いす利用選手のレースを先に行う。）
- （5）参加者数によってプログラムを変更する可能性がある。

12 選手団の送迎

送迎バス等の来場・駐車に関して、下記の内容を確認すること。

※申込書に、車両の到着予定時間（行き）、出発予定時間（帰り）を必ず記入すること。

A. 経費負担

今回は、費用負担は発生しない。（会場都合による）

B. 会場での選手乗降

- （1）選手及び引率者等の乗降は、必ず当協会指定の場所で行うこと。
 - （2）乗降は、選手の安全に留意し、係員の指示に従って行うこと。
- ※別途、バス乗降場所、帰りの時間等を決定し連絡する。

C. 駐車

- （1）持込車両で来場する場合は、申込時に駐車券の発行を併せて申請すること。
- （2）駐車場所は、駒沢オリンピック公園総合運動場きりんさんパーキング（予定）。

13 競技係員

各参加施設には競技係員1名以上の派遣をお願いする。（申込用紙係員欄に派遣者名を記入すること。）

※競技係員は、当日は係員として活動するので施設の引率はできない。

14 申込方法

（1）郵送または持参による申し込み

所定の「申込用紙」（来場型とリモート型・動画視聴型の申込用紙は別になっているので注意すること。）

及び「参加誓約書」に必要事項を記入し、下記宛て、郵送または持参にて期日までに申し込むこと。

なお、FAXでの申込は受け付けできないので注意すること。

（2）インターネットによる申し込み

下記ホームページの入力フォームから必要事項を入力し、「参加に関する誓約事項」に同意の上、期限内に申し込むこと。

URL：<https://tsad-portal.com/tsad/topics/30211>

※スマートフォンからの申し込みも可能であるが、パソコンからの申し込みを推奨する。

15 申込期限（冊子絵含む）

令和7年9月1日（月）（必着）（予定）

16 来場型を希望する場合の申込書記入上の注意事項

- （1） 個人参加者は、来場型の参加申込書【個人用】に記入し、参加種目に○印をすること。
- （2） 施設参加者は、来場型の参加申込書【施設用】に漏れなく記入すること。
 - ・「担当者氏名」欄には、連絡担当者の氏名を記入し、ふりがなを付記すること。
 - ・「競技係員氏名」欄には、担当者以外の競技係員を記入すること（複数の場合も可）。
 - ・送迎バス欄・持込車両欄には台数を明記すること。
 - ・「合計」欄には、参加選手数（実人数）、職員・家族等の合計を記入すること。
 - ・車いすを利用または歩行が困難な方の数は、各人数欄の（ ）内に、その選手数の内数を記入すること。

17 その他

- （1） 申込人数以上の追加の参加は出来ない。
- （2） 申込者多数の場合は、参加をお断りする場合もある。
- （3） 参加賞は、申込状況にもよるが、来場者を優先的に配布する。
- （4） 今回の会場は、冷水機が1台のみ、会場内の自動販売機の数に限りがあるため、参加施設等は各自で飲み物を用意することが望ましい。
- （5） 健康、安全管理は各自において十分留意するものとし、主催者においては、応急の処置を除き、一切責任を負わないものとする。
- （6） 大会の映像・写真・記事・記録など（氏名・年齢・性別・記録・肖像などの個人情報）が新聞・テレビ・雑誌・インターネット・パンフレットなどに報道・掲載・利用されることを承諾するものとする。
- （7） 不明な点については、下記まで問い合わせること。

18 連絡先及び申込先

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ12階

公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会 スポーツの集い担当

【分室】TEL 03-6265-6001

玉入れ競技要領

(1) 実施方法

駒沢屋内球技場のメイン会場とリモート参加の施設会場で同時に実施する。

メイン会場は主催者が、施設会場は施設担当者が、人数が均等になるよう、紅・白に組分けする。

メイン会場のスタートの合図で投げ始め、終わりの合図で投げるのを止める。

(2) 競技時間・回数

20秒を2回行う。

(3) カゴの設置

メイン会場：紅白各3基

参加選手の身長等を考慮して1基を低めに調整することを考慮する。

施設会場：カゴの代用品として、逆さにした傘・段ボール等を使用する。

玉入れ用のカゴを用意できる施設では、カゴの使用でも構わない。

紅白の数は、施設での参加人数に応じて、施設で決定する。

カゴの数、高さは、参加選手の人数、身長に応じて施設で決定する

(但し、紅白のカゴの高さに著しい差が無いよう注意する)。

(4) 集計

メイン会場：司会者の声に合わせて、各組のカゴに入った玉を数え、勝敗を決める。

司会者が、勝った方の色のタオル(参加賞)を掲げる。

施設会場：施設職員が数え、勝敗を決める。

勝った方の色のタオルをWEBカメラに写し、結果をメイン会場に伝える。

メイン会場の大型スクリーンで各施設の映像を映し、司会者が紅白の数を数える。

(5) 最終採点方法

メイン会場と施設会場の勝った方に1点を与える(メイン会場1点、各施設会場1点)。

得点数で勝敗を決める。

カゴに入った玉の数は、得点には関係しない。

(例)

	勝敗	紅組得点	白組得点
メイン会場	紅組	1	
施設会場A	白組		1
施設会場B	紅組	1	
施設会場C	紅組	1	
施設会場D	紅組	1	
施設会場E	白組		1
最終集計	紅組	4	2

※例では、メイン会場と5施設会場で集計 / 開催時は、メイン会場と参加施設会場で集計

ボール渡しリレー競技要領

(1) 実施方法

メイン会場（駒沢屋内球技場）とリモート参加の施設会場で同時に実施する。

主催者が参加人数に応じて、人数が均等になるよう、紅・白に組分けする。

紅・白の2チームに分かれ、等間隔（50cm 程度）となるように、1列に並ぶ。

先頭の人に1つ目のボール等を渡すので、スタートの合図で、先頭の人から順番に次の人へ渡していく。

1つ目のボール等の進み具合に応じて、2つ目のボール等を渡す。その後、3つ目のボール等を先頭の人に渡すので、同様に渡していく。

最後の人がゴール地点のカゴに入れ、3個のボール等を先に入れたチームが勝ちとする。

(2) 競技時間・回数

3レース行う。

(3) 勝敗

1レースごとに、勝敗をつける。

(4) リモート参加時のルール

基本的に(1)と同じルールとする。メイン会場の競技が終了した時点で、リモート参加施設の競技終了とする。

各参加施設の事情に応じて、等間隔に並ぶ際の間隔、コース、周回数は各参加施設にて設定することとする。

最終的な勝敗（紅、白）を画面に投影する。